

【ポイント運用サービスに関する意識調査】

新型コロナウイルス感染拡大で株価大幅下落も

9割が「今後もさらにポイント運用を楽しみたい」積極的な運用意欲

リスクの大きい金融商品も「ポイントだからこそ、今試してみたい」

株価等金融商品連動型ポイント運用サービスを提供する STOCK POINT 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：土屋清美、以下「当社」）は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ポイント運用サービスに関する意識変化を把握するため、当社の展開する190銘柄超の金融商品へのポイント運用サービス「StockPoint」を利用する1,074名を対象にアンケート調査を実施しました。Stock Pointでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響による株式市場の混乱などに対して、80%のユーザーが「ポイント運用数や運用銘柄への影響がある」と回答しているものの、運用に対しては前向きで、90%のユーザーは「さらにポイント運用を行っていきたい」と回答。分散投資でリスクを回避しつつ、運用を継続しようとする姿勢がうかがえる一方で、リスクは大きいもののポイントだから試してみたいという志向が強いユーザーもあらためて多くいることがわかりました。

自己資金ゼロで、株式運用をはじめよう。

アプリをダウンロードしてStockPoint会員になると、
現金や口座開設を必要とせずに疑似的な投資体験をすることができます。
会員登録に必要なのは、メールアドレスのみ。わずらわしい情報入力や本人確認がありません。



「ポイント運用サービスに関する意識調査」トピック

- 調査対象者の約80%が「新型コロナウイルス感染拡大の影響による金融市場の変化が、ポイント運用する銘柄や運用ポイント数の増減に影響している」と回答。また調査対象者の約90%が「今後さらにポイント運用するポイント数を増やしていきたい」と回答。
- 「今後さらに積極的にポイント運用したい」と回答したユーザーの約40%が、StockPointのテーマ別運用銘柄のうち、リスク選好的な銘柄を含む「金融商品いろいろ」カテゴリへの追加運用を検討していると回答。
- ポイント運用を行う際に判断基準となる情報収集方法について聞いたところ、調査対象者の半数以上が「ネットニュースやSNS」と回答しており、SNSでは特にTwitterからの情報収集が多い結果となった。
- 調査結果において、今後もポイント運用を続けたい理由として「ポイントを使っただけの運用だから気楽」「ポイント運用で試したり、勉強できる」「ポイントを増やしたい」といった声や、「今が仕込み時と感じる」「長期投資、分散投資としてポイント運用をさらに行いたい」「StockPointは運用したポイントが本物の株式に交換できるため」といった、投資知識・経験の豊富なユーザーからの意見も見られた。

【調査概要】

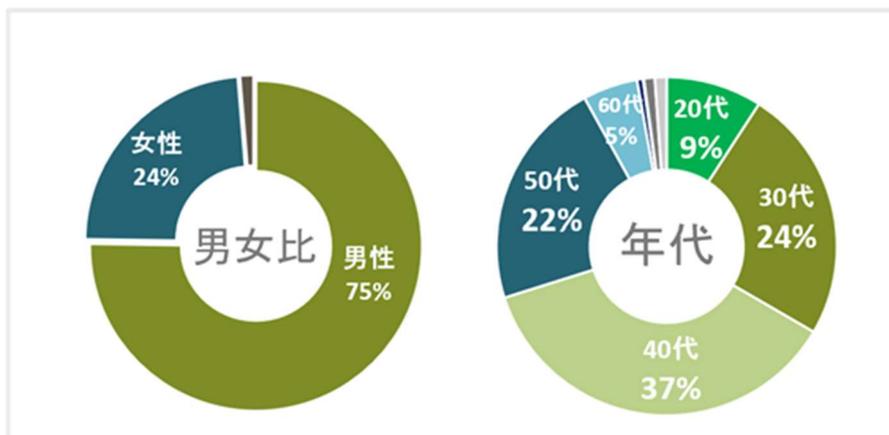
調査方法：アンケートツール“SurveyMonkey”WEBアンケート方式

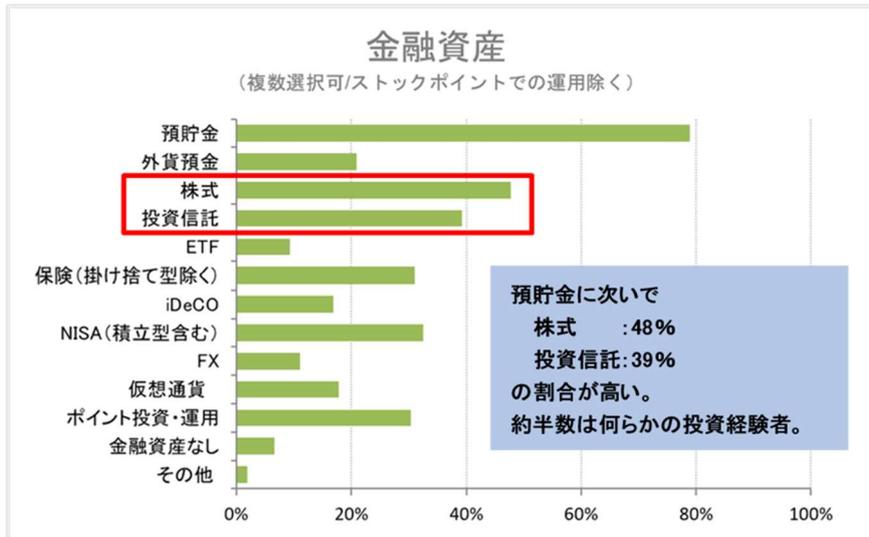
対象者：ポイント運用サービス「StockPoint」ユーザー 1,074名

調査期間：2020年3月30日（月）～2020年4月5日（日）

有効回答数：1,074名

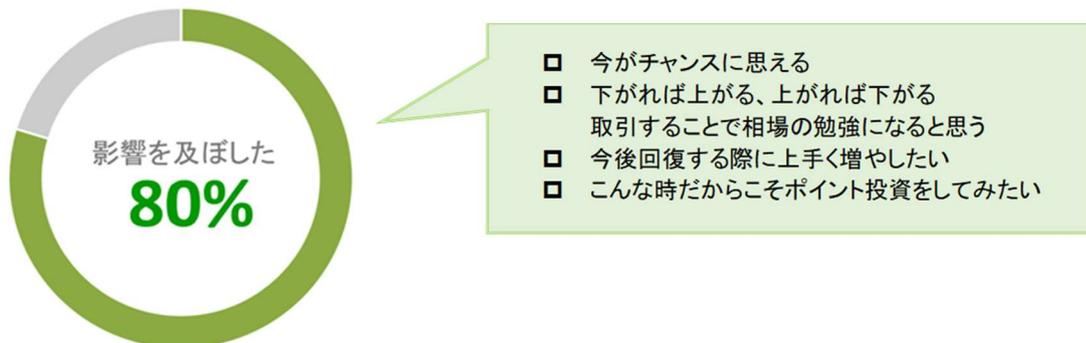
【回答者属性】





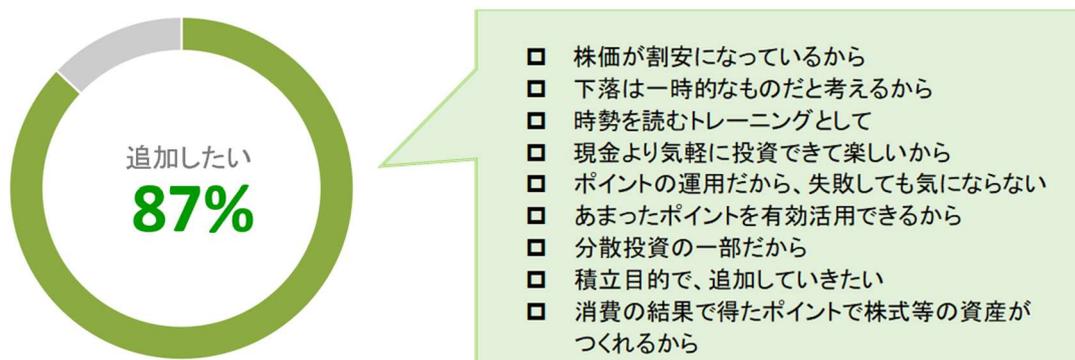
【調査結果サマリー】

◇新型コロナウイルス感染拡大は、あなたが StockPoint でポイント運用する銘柄や、そのポイントの増減、ポイントの交換などに影響に及ぼしていますか？



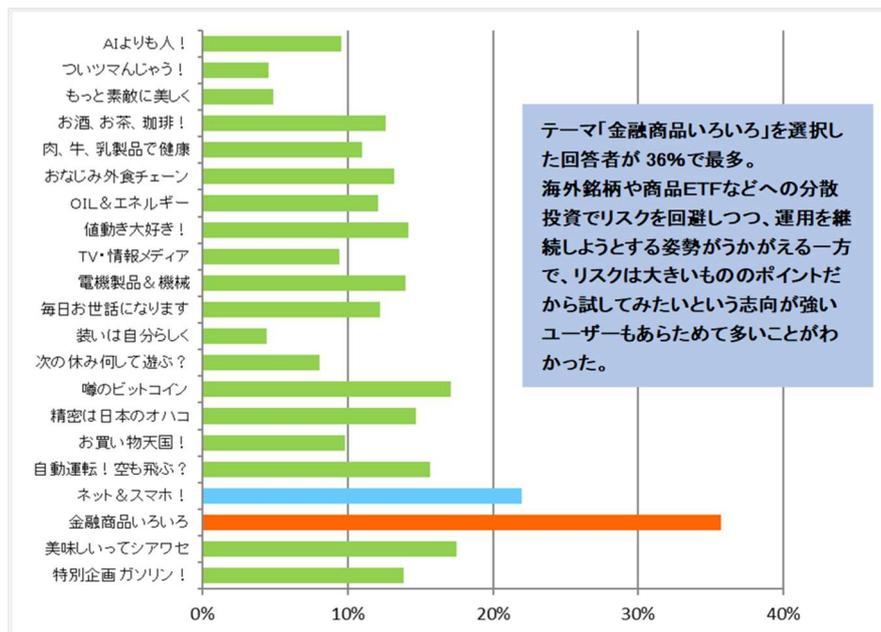
「コロナショックで減りました」という声はありつつも、株価の暴落をチャンスと受けとめる積極的な姿勢が見られる。

◇今後も StockPoint で、新たな金融商品銘柄への運用ポイントを追加したいと思いませんか？



◇（「今後、新しい金融商品銘柄へポイント運用してみたい」と回答した 856 名を対象）どのテーマに含まれる銘柄で運用したいとお考えですか？（複数選択可）

※STOCK POINT で運用できる銘柄の一覧：https://www.stockpoint.co.jp/stock_list.html

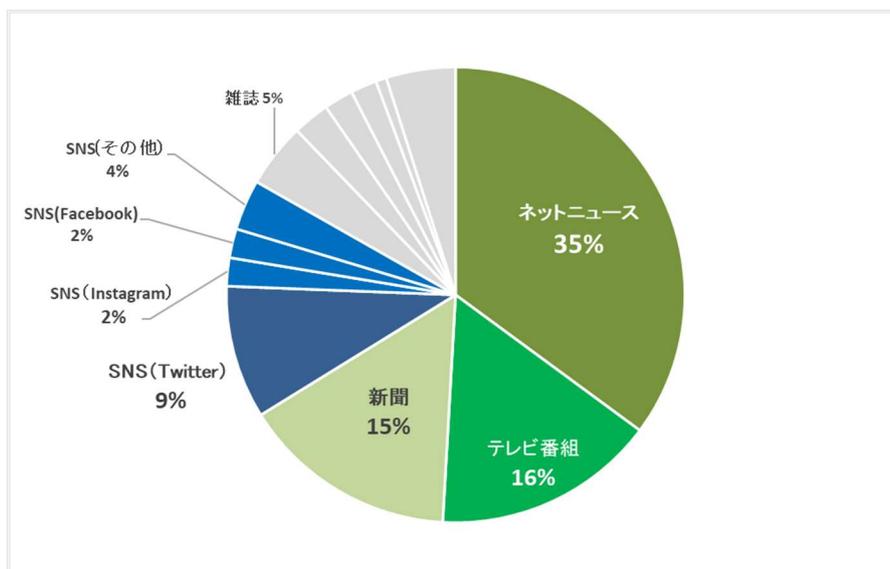


- 色々な分野に分散投資することでリスク分散を図りたい。
- 新しいものを試したい
- 値動きが激しい銘柄を、今の下がった時期に買っておきたい
- 積極的に運用していきたい
- 値動きが荒いため
- 逆張りができる
- 好きな会社の株価の上下が楽しめる
- 今後回復に向かう際、これまでとは違った銘柄に注目が集まると思う

「金融商品いろいろ」にある銘柄の他、国内個別銘柄でも幅広い分野から選択をしたいなど、分散効果を狙うだけでなく積極的にいろいろ試したいという声が聞かれた。

◇STOCK POINT でのポイント運用を行う際に、その判断基準となる情報はどこから入手していますか？

（*複数回答のため、数字は総回答数に対する割合となります）



調査結果では、ネットニュースや SNS を通じた情報収集が半数を超えており（52%）、テレビや新聞といったマスメディアからの情報収集も一定数みられるものの、ネットを介したものが顕著となった。

■STOCK POINT 株式会社について

当社のポイント運用サービスは、個別企業株に連動してポイント運用ができる国内唯一（※1）のサービスです。ポイントのまま、金融商品の価格に連動してポイント価値が上下するこのサービスは、金融機関に口座を開くことなくどなたでも気軽にポイントで運用ができるサービスです。現在、会員数は 12 万人、預かりポイント残高は 1 億 2 千万ポイントを超えており、当社会員の約 70%が 20 代から 40 代の若年層、30%の方が投資全く未経験の方で、今まで投資に馴染みのないユーザーにも気軽に貯蓄から投資への一歩を踏み出してもらえるサービスとして広がっています。

個別株、ETF、REIT に関しては 1 株、1 口価格相当以上のストックポイントが貯まると、現物金融商品と交換することもでき、最近はこのような形で証券口座など開く会員も増えてきています。（※2）

当社は、このポイント運用サービスを通じて、生活者が投資についての正しい知識を得て、自分らしい資産形成を始めるお手伝いをしていきます。また、ファンであり、顧客であり、そして株主である生活者と企業との強固で暖かい関係を作り出していきます。

（※1）当社調べ 2016 年国内特許・米国特許取得済み

（※2）現物への交換にはポイント投資アプリ「StockPoint」のダウンロードおよびご本人名義の証券口座が必要です。

■会社情報

社名：STOCK POINT 株式会社

所在地：〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-1-7 日比谷 U-1 ビル 12F

代表取締役：土屋清美

設立日：2016 年 9 月 12 日

URL：<https://www.stockpoint.co.jp/company/>